

大阪府生活協同組合連合会

〒542-0012大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内
tel.06-6762-7220 fax.06-6762-7296
URL : <http://osaka-union.coop/>

会報

KAI-HOU

No.307
2013. 11. 14



東日本大震災被災地支援バス

[開催報告]	第2回理事会	1
[開催報告]	第25回近畿地区生協・行政合同会議	12
	9条世界会議・関西2013	13
	東日本大震災被災地支援活動2013年度の取り組み	14
[連載]	“女だから” “男だから” はもうやめよう	19
[スケジュール]		20

大阪府生協連 2013年度第2回理事会開催報告

開催概要

- I. 日時 2013年10月17日(木)
14時3分～16時
- II. 場所 大阪府社会福祉会館 5階503
- III. 出席者
(会長理事) 惣宇利
(副会長理事) 柴橋、藤井
(専務理事) 安本
(常務理事) 中村
(常任理事) 入船(14時50分報告事項1から退席)、北川、羽多野、森本
(理事) 青松、浅井、上原、江口、勝山、鎌田、田中、洞井、堀内(14:28審議事項2より出席)、松本、矢田部
(監事) 松岡(14時10分審議事項1より出席)
- 以上、理事総数25名中20名出席、監事総数3名中1名出席
(欠席理事) 池田常任、三上常任、大内、奥、間
(欠席監事) 岡田、吉川
- IV. 議長 惣宇利会長理事
- V. 議事の経過と要領との結果

定刻になり、惣宇利会長理事が議長として、理事総数の過半数以上の出席をみたので、理事会の議決要件を充足した旨を告げ、開会を宣し議事を進行した。

審議事項

1 大阪府生協連2013年度上半期決算報告の件

安本専務理事より、大阪府生協連の2013年度上半期決算について報告がされた。

討議の結果、報告どおり、全員異議なく承認された。

2 2013年度政策討論集会開催企画の件

中村常務理事より、来年1月23日に開催する2013年度政策討論集会の開催企画について、大阪府生協連60周年記念企画の一環として実施し、第1部として、日本生協連の浅田会長理事からのご挨拶、消費者庁の阿南長官からの記念講演、長官と府連理事に

よるパネルディスカッションを行い、第2部として、懇親交流会を開催する旨提案がされた。

討議の結果、意見を踏まえ、提案を修正し、パネルディスカッションを割愛し、1部と2部を合わせて、ご来賓挨拶～記念講演～懇親交流会で組み立てること、企画名称はより周年企画に相応しい名称に変更することが全員異議なく承認された。

なお、藤井副会長理事より「周年企画としてご来賓等に配慮ある時間設定について」、北川常任理事より「内容にあった企画名称の設定について」意見が出された。

3 政府はただちに福島原発事故「収束宣言」の撤回を！「原発即時ゼロ」「子ども・いのち・暮らし」を守ることを求める請願署名の会員生協への案内の件

小山事務局長より、政府はただちに福島原発事故「収束宣言」の撤回を！「原発即時ゼロ」「子ども・いのち・暮らし」を守ることを求める請願署名について、会員生協へ案内し、趣旨に賛同いただける会員生協には署名への協力を呼びかける旨提案がされた。

討議の結果、意見を踏まえ、会員生協には、署名取り扱い団体についての情報を添付する等、丁寧な案内を行う事とし、全員異議なく承認された。

なお、惣宇利会長理事、柴橋副会長理事、松本理事より「提案の経過及び署名取り扱い団体について」質問が出された。

報告事項

1 夏休み文化企画開催報告

(1)夏休み文楽鑑賞のつどい

①開催概要

[日時] 2013年7月26日(金)
開演11時 終演13時10分

[会場] 国立文楽劇場

[後援] 大阪府

[開催要領]

10:00 正面入口開場

10:15 2階開場

10:45 幕開三番叟

主催者挨拶

金太郎の大きも退治

解説 ぶんらくってなあに
(休憩)
瓜子姫とあまんじゃく

13:10 終演

②申込・当選結果

- 11生協1,147人から申込がありました(昨年1,443人 昨年差▲294人)。震災避難者招待41人を含め総数1,188人となりました。
- 発券数は会員生協に660枚、招待41枚 合計701枚発券しました。

③割引券使用状況

- 割引券は487枚発行し102人が利用されました。使用率は20.9%と昨年より2.6ポイント高くなりました。

④収支結果

- 支出計は2,236,443円、昨年より30,198円減少しました。内訳は公演料が使用座席数を16席減少したことで昨年差▲36,800円。チラシ作製費は枚数の増加により昨年差+18,442円。割引券作成は作成枚数減少により昨年差▲840円。割引券府連負担は利用者減少により昨年差▲11,000円。ただし割引券府連負担はチラシ作製費の中で精算しているので実質の府連負担はありません。
- 収入はチケット販売収入が660席分で1,188,000円。昨年差▲61,200円となります。府連負担は1,048,443円で昨年差+31,002円となりました。

⑤アンケート集計結果

- 提出数410人、提出率64.5% 昨年より7.6ポイント増加
- 女性76.3% 男性23.7% 昨年より3.7ポイント増減
- 年代構成から子供4割、大人6割。ほぼ例年並み
- 初めて鑑賞69.5% 昨年より7.2ポイント増加
- 全体評価では、「大変良かった」「良かった」の合計が73.5%と好評
- 演目別評価は、8割を超える好評。
- コメントは別紙参照

(2)夏休みファミリーコンサートのまとめ

①開催概要

[日時] 2013年7月29日(月)
開演11時(14時30分)
終演13時(16時30分)

[会場] NHK 大阪ホール

[後援] 大阪府

[開催内容]

10:00(13:30) 開場

11:00(14:30) 開演

主催者挨拶

○組曲「スターウォーズ」よりメインタイトル

○楽器紹介

アイネ・クライネ・ナハトムジーク

トランペット吹きの休日

○復興支援ソング「花は咲く」

(休憩)

○Clip Beat Clap!

○ウォルト・ディズニー・メドレー

○「白鳥の湖」組曲より情景～四羽の白鳥の踊り～ワルツ

○アンコール ラデッキー行進曲

13:00(16:30) 終演

②申込結果

- 午前の部は、会員生協で1,153人、震災避難者招待32人を含め1,185人。午後の部は、会員生協で980人、同招待32人を含め1,012人。3年連続で全員当選となりました。

③収支

- 支出計は8,312,631円、昨年差+716,656円でした。内訳はNHKホール使用料は舞台音響設備の増で昨年差+3,706円。センチュリー交響楽団出演料は、演奏料の値上げと演奏曲の使用料やエキストラの増員等で昨年差+699,650円。案内チラシは印刷部数増で昨年差10,500円。配券業務委託費は作業時間延長により昨年差+2,800円となりました。
- 収入は、チケット販売が組合員2,133人に当日販売5人(楽団関係者)を加えて2,138人分4,703,600円となり、昨年より34人分減▲74,800円。
- 上記により、府連負担金は3,609,031円となり、昨年差+791,456円となりました。

④アンケート(午後の部のみ実施)

- 提出数679枚 提出率70.9% 昨年より2.8ポイント増
- 女性80.1%、男性19.4%
- 10歳代以下 約4割 ほぼ例年並み
- 初鑑賞70.4% 昨年より12.4ポイント増
- 約7割から好評

2 社会福祉問題研修会開催報告

[日時] 2013年7月31日(水)
10時～12時30分

[場所] 大阪府社会福祉会館 4階401

[参加] 17会員、講師、府連 76名

いずみ	19名	よどがわ	7名	バルコープ	17名
こうべ	2名	自然派	4名	ヘルス	2名
かわち野	3名	北大阪	3名	けいはん	1名
きづがわ	3名	よどがわ保健	1名	ほくせつ	2名
グリーンコープ	2名	南大阪	1名	府立大学	1名
エスコープ	3名	全労済	1名		
講師	1名	府連	3名	合計	76名

[開催内容]

- 10:00 開会
 司 会 常務理事 中村 夏美
 主催者挨拶 会長理事 惣宇利紀男
- 10:10 講演「新しい地域福祉と
 コミュニティの活性化」
 桃山学院大学教授 松端 克文 氏
- 11:40 休憩
 11:55 質疑応答
 12:30 閉会

3 コヨット in おおさか・福島里帰りバス開催報告

(1)コヨット in おおさか

- [日 程] 2013年7月23日(火)～7月26日(金)
 [参 加] 福島県在住の小学4～6年生
 25名
 <性別・学年別>
 女子10名(4年7名、5年1名、
 6年2名)
 男子15名(4年3名、5年9名、
 6年3名)

[参加費] 4,500円

[内 容]

- 7/23(火)朝 福島県郡山市出発
 (大型バス1台)
 夜 宿舎「ほの字の里」到着(大阪府貝塚市)
- 7/24(水) ほの字の里で体験企画
 ○竹の切り出しからそうめん流し体験
 ○竹でおもちゃづくり体験
 ○たこ焼きづくり体験
 夕食バーベキュー
- 7/25(木) ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
 マンチェスターユナイテッド公開
 練習見学
- 7/26(金)朝 ほの字の里出発
 夜 福島県郡山市到着

[運営協力]

- ・ほの字の里での体験企画には、大阪いずみ

市民生協の組合員ボランティアと、いずみ市民生協を通じて大阪みどりのトラスト協会に運営いただきました。

- ・ユニバーサル・スタジオ・ジャパンとマンチェスターユナイテッドの公開練習には、随員スタッフとして17名の大学生、高校生に協力いただきました。

(2)福島里帰りバス

- [日 程] 2013年7月22日(月)・7月27日(土)
 [参 加] 福島県から大阪市内への避難者
 4世帯8名
 [参加費] 無料
 [内 容]
 7/22(月)朝 なんばOCAT 出発
 夜 福島県郡山市到着
 (解散 自由行動)
 7/27(土)朝 福島県郡山市出発
 夜 なんばOCAT 到着

[運営協力]

- ・道中での参加者の子どもさんの対応を中心に、コヨットの学生スタッフから1名の男子高校生が里帰りバススタッフとして協力いただきました。

4 理事・監事研修会開催報告

- [日 時] 2013年10月2日(水)
 10時～12時50分
 [場 所] 大阪府社会福祉会館 4階401
 [出 席] 26会員、講師、大阪府、府連
 合計75名

いずみ	19名	よどがわ	10名	グリーンコープ	2名
エスコープ	1名	バルコープ	8名	こうべ	1名
自然派ピュア	2名	きづがわ	1名	かわち野	1名
北大阪	5名	けいはん	1名	ヘルス	2名
大東四条畷	1名	ほくせつ	2名	羽曳野	1名
阪南医	1名	南大阪	1名	大阪大学	1名
経済大学	1名	府立大学	1名	近畿大学	1名
阪南大学	1名	インカレ	1名	学校生協	1名
日鉄住金	2名	市民共済	1名	全労済	1名
講師	1名	大阪府	1名	府連	3名
				合計	75名

[内 容]

- (1)開 会 司会 事務局長 小山 正人
 挨拶 会長理事 惣宇利紀男
- (2)大阪府からの挨拶
 男女参画・府民協働課総括主査
 佐々木信嗣 氏
- (3)基調講演

『監事監査の基本と改定監事監査規則例について』

日本生活協同組合連合会 会員支援本部
法規会計支援室長 宮部 好広 氏
(4)質疑応答

5 各委員会報告

(1)第5回文楽・コンサート実行委員会

[日 時] 2013年8月7日(水) 10時～12時
[場 所] 大阪府社会福祉会館 4階406
[出 席] 安嶋(いずみ)、吉川・久保(よどがわ)、伊藤(エスコープ)、平手(パルコープ)、斎藤(自然派)、羽村・橋本(かわち野)、貴船(学校)、岡田(全労済)、中村・矢田部・小山(府連)
以上15名

[議 題]

- (1)夏休み文楽鑑賞のつどいの取り組みについて
- (2)夏休みファミリーコンサートの取り組みについて

[議事結果]

各取り組み結果について報告があり感想・意見交換した。

(1)夏休み文楽鑑賞のつどい

- ・会長挨拶の後、ブザーが鳴ってから演目が始まるまでの時間が長かった為、会場内がざわついた。
- ・途中休憩で昼食を摂られている方が多く見受けられ案内が行き届いていると感じた。
- ・台詞の言葉が難しい。字幕の漢字にはふりがながあった方がいいのではないか。
- ・解説でのスクリーンの使用は継続してほしい。
- ・お孫さん連れ多かった。お母さん世代の参加が増える事で文化の継承にもなると思った。
- ・イヤホンガイドの値段がチラシと違っていたので劇場との事前確認を徹底しないといけない。
- ・1400前後の申込があるのであれば2回公演も可能ではないか。
- ・落選者対応で割引券を配布していることもあり、2回公演の検討は今の段階では早いと思う。

<次年度への申し送り>

- ・字幕の漢字へのルビについて劇場に要望

する。

- ・演目スタートまでの時間の活用について劇場に相談する。

(2)夏休みファミリーコンサート

- ・車イス来場者の対応でチケットのもぎりの人数が一時的に少なくなった。ホールスタッフと生協要員の役割分担で解消できることもあると感じた。
 - ・花は咲くの合唱は歌唱指導があるほうがより盛り上がったのではないかと。
 - ・子どもだけで会場に入り、保護者が外で待っている方がいたが、保護者同席を徹底した方が良いのではないかと。
 - ・プログラム内容はよかった。
 - ・昨年までの指揮者やシンバルの体験もよいが、今年の手拍子共演は本当によかった。
 - ・2階席は指揮者のMCの声がこもって聞こえていた。
 - ・指揮者の解説が上手だった。
 - ・マナーの悪い子どもへの対応を検討しないといけない。
 - ・大変バランスのとれた選曲・プログラムだと思った。
 - ・府連の持ち出しが360万円を超えている。この状況が続けば企画の継続はむずかしいのではないか。
 - ・センチュリーからは使用料の安い他会場を提案されているが席数はNHKホールより400席程少ない為、ホール使用料は減額出来てもチケット収入が減少するのでメリットはない。
 - ・基本はチケットの普及を推進すること。そのための手立てを協議することが必要。満席販売出来れば持ち出しは約150万円減少し、210万円ほどに収まる。
 - ・この間大きく申込が減少している生協は対策を講じる必要がある。
- <次年度への申し送り>
- ・引き続き、日本センチュリー交響楽団の演奏でNHKホールを会場で開催する方向とする。
 - ・チケットの普及と経費削減について協議し収支改善させる。

(2)第4回生協大会実行委員会

[日 時] 2013年9月4日(水) 10時～11時
[場 所] 大阪府社会福祉会館 4階406
[出席者] 坂井(いずみ)、山田・加藤(よどがわ)、南埜(エスコープ)、

中（こうべ代理）、平手（パルコープ）、木村（きづがわ）、小西（かわち野）、志垣（全労済）、南波（大学阪神事業連）、上原・小山（府連）以上12名

- [議 題] (1)会員への開催案内について
(2)当日の運営について

[議事結果]

- ①会員生協に発送する「開催案内・開催要領・参加申込書・展示募集要領・出展申込書」を確認した。また各会員への参加要請人数について昨年度並みとすることを確認した。
- ②会員生協の報告順番について、あらためて、かわち野→パルコープ→いずみ市民とすることを確認した。
- ③広報チラシについてのデザインについて確認した。
- ④開催案内および広報チラシの会員への発送については9月2週末とすることを確認した。
- ⑤当日の運営について、実行委員会での役割を「司会（前回エスコープが担当することを確認済）」「受付（設営含む）。昼食配布」「展示（設営含む）」とし、実行委員会生協で当日運営に協力いただける人数を10/25まで府連事務局に結集し、各役割分担は事務局で調整することを確認した。また受付のスタイルは例年通り、「地域」「医療」「大学、職域、共済」の3つの島で分けて行う事、交通費請求用紙の配布など独自内容がある生協は要員も含め単独で受付いただくことを確認した。

(3)第1・2回大規模災害対策協議会報告

○第1回

[日 時] 2013年7月19日(金)
14時～15時55分

[場 所] 大阪府社会福祉会館 4階406

[出席者] 正木・本多（いずみ市民）、加藤（よどがわ市民）、成（グリーンコープ）松下・宮内（パルコープ）、金川・尾崎（こうべ）、岡田（コープ自然派ピュア）、松田（大阪学校）、辻（全労済）、一樋（大学生協）、中村・小山（府連）
以上14名

[議 題]

- (1)大阪府生協連 大規模災害対策協議会について
- (2)2013年度協議会のすすめ方について

(3)各生協の取り組み交流

[議事結果]

(1)事務局より、大阪府生協連 大規模災害対策協議会について今までの経過および役割について報告した。

(2)2013年度協議会のすすめ方について提案があり、討議の結果、以下確認がされた。

<行政との連携>

①防災訓練への参加

11/10(日)10時～13時大阪府・泉北地域
3市1町合同防災訓練

②府との定期協議の実施（第4回協議会と同日開催で調整）

③2013年度版緊急連絡先一覧表の作成
<会員生協との連携>

①図上演習の実施（1～3月頃）

東南海・南海沖地震を対象としてきたが、日本生協連の支援体制変更に伴い、運営全般を自前で実施することになります。運営体制も含めあらため協議します。会員生協独自での図上演習の開催を支援し、運営等に協力します。

②安否確認システム・MCA 無線

- ・府連の安否確認システムに地域生協緊急連絡窓口者（各1名）を登録。
- ・関西地連のMCA無線通信訓練に参加します。

③緊急時通行車両の一覧表の整備

- ・緊急時通行車両事前届出をしている150台の棚卸を実施。廃車等の減車は基本補充の協力を要請します。

<日本生協連、他府県連との連携>

関西地連大規模災害対策協議会にオブザーバー参加し、関西地連、会員地域生協、他府県生協連の更なる連携の構築す。

<大阪府生協連災害対策要綱を見直し>

この間の図上演習等により、検討課題について日本生協連、会員生協等と調整し、より現実的に対応できるように見直します。

<協議会開催日程>

- ・第2回：9/5(木)、第3回：12/12(木)、第4回：2/13(木)第5回未定

全日程開催時間14時～16時 大阪府社会福祉会館にて

(3)各生協の震災被災地支援活動、災害対策、防災・減災の取り組み等について報告交流した。

○第2回

[日 時] 2013年9月5日(木)

14時～16時15分
[場 所] 大阪府社会福祉会館 5階506
[出席者] 正木（いずみ市民）、加藤（よどがわ市民）、宮内（パルコープ）、金川・尾崎（こうべ）、肥後（生活クラブ）、松田（大阪学校）、志垣（全労済）、一樋（大学生協）、辻（関西地連）、植松（きんき）、富田（大阪府危機管理課）、中村・小山（府連）
以上14名

[議 題]

- (1)学習「大地震のための防災対策」
- (2)大阪府・泉北地域3市1町合同防災訓練への参加企画について
- (3)2013年度図上演習企画について
- (4)緊急連絡窓口2013年度版
- (5)その他

[議事結果]

- (1)大阪府危機管理課の富田課長補佐をお招きし、先日大阪府が公表した、南海トラフ巨大地震発災時の大阪府の津波被害想定を踏まえ、「大地震のための防災対策」について講義いただいた。
- (2)今年度の大阪府・市合同の防災訓練（11／10泉大津フェニックス）について大阪府生協連からの参加企画の内容と当日運営について討議し、展示啓発コーナーへの出展内容として「日本生協連作成パネル等を活用し東日本大震災支援活動、ぼうさい塾について、地震体験クイズ、トラック展示」を行う事、当日運営は会場をエリアとするいずみ市民に協力をお願いすることが確認された。
- (3)今年度の図上演習企画について、討議し以下の内容で開始することが確認された。
 - ①開催時期は2月下旬～3月中旬で調整する。
 - ②対象地震は「東海・東南海・南海連動地震」
 - ③参加対象は会員地域生協、日本生協連、コープきんき、大規模災害対策協議会メンバー
- (4)緊急連絡窓口（地域生協）2013年版について一部、未結集生協があり、全体が揃い次第、各生協の担当者に配布することを確認した。
- (5)その他、先日の緊急地震速報（誤報）での各生協の行動等について交流した。

(4)ジェンダーフォーラム協議会報告

○第1回

[日 時] 2013年7月30日(火)14時～16時
[場 所] 大阪府社会福祉会館 4階402
[出席者] 上杉・問田・山本（いずみ市民）、井上（よどがわ市民）、黒澤・泉（エスコープ）、佐保・武田（パルコープ）、岡本・野間（こうべ）、西浦（北大阪医療）、岡田（全労済）、惣宇利、波多野、青松、浅井、鎌田、中村、小山（府連）
以上19名

[議 題]

- (1)自己紹介
- (2)ジェンダーフォーラム協議会について
- (3)2012年度の取り組み結果と2013年度の活動について

[議事結果]

- (1)事務局より、大阪府生協連 ジェンダーフォーラム協議会について今までの経過および役割について報告した。
- (2)事務局より、2012年度の取り組み結果と2013年度の活動に提案があり、意見交換を行った。
 - ・9月開催の東日本大震災での母子避難者の子どもを守りたいなどの思いや現状が聞けてよかったが参加者が少なく残念だった
 - ・3月の学習講演会は、政策討論集会と同じ話だった。アンケート結果をどういかしていくかなど興味を持った
 - ・子ども会の役員を1年間やってみて地域での交友関係が広がったが、役員を降りるとつながりは薄くなる。地域の中でのジェンダーの視点など見方がいろいろとある。
 - ・よどがわ生協では、組合員活動の男性参加率が少ないで、コープこうべの生協訪問がとても参考になった。
 - ・学習講演会テーマ等は、アベノミクスと女性登用や税制問題（扶養控除、年金等と女性の関わり）など検討してはどうか。
- (3)2013年度の活動について以下を確認した。
 - ①第2回 2013年10月8日(火)
午後2時～4時
(当初予定の9／24(火)から変更しています)
 - 第3回 2013年11月26日(火)
午後2時～4時
 - ②第2回

前年までの協議会取り組み経過も踏まえつつ、色んな視点からジェンダーを見て、今年度の活動について第2回協議会で討議することを確認した。

- ③第4回 2013年3月4日(火)
学習会のテーマ等は、引き続き検討することにした。
- ④会報へ掲載するジェンダー関連記事の担当生協を確認した。
9月号：こうべ 11月号：パル
12月号：生活クラブ

○第2回

[日 時] 2013年10月8日(火)
14時～16時15分

[場 所] 大阪府社会福祉会館 5階506

[出席者] 上杉・山本（いずみ市民）、井上・西田（よどがわ市民）、泉・黒澤（エスコープ）、武田（パルコープ）、上野・海老根（自然派）、岡本・野間（こうべ）、西浦（北大阪医療）、岡田（全労済）、鎌田・惣宇利・羽多野・青松・浅井・中村・小山（府連）
以上20名

[議 題]

- (1)日本生協連「男女共同参画促進に関する第四次中期の行動課題」について
- (2)今年度の学習テーマについて
- (3)会員生協の取り組み交流（資料提供）
- (4)関西地連公開学習会開催のお知らせ

[議事結果]

- (1)日本生協連の男女共同参画のこの間の取組経過について「男女共同参画促進に関する第四次中期の行動課題」を活用して報告がされた。
- (2)今年度の学習テーマについて、4つのグループに分かれ意見交流を行った。各グループからの報告を受け、11月の協議会内での学習と3月の学習講演会のテーマ設定について討議した。
討議の結果、次回協議会（11/26）では、「女性登用の知恵と工夫」をテーマに生協及び民間企業の先進事例をお聞きすることとした。3月の学習講演会は出された意見を踏まえ、次回協議会に継続協議することが確認かされた。
- (3)会員生協の取り組み交流として、いずみ市民から資料を配布した。
- (4)関西地連公開学習会（11/9）の開催案内

をした。

日本生協連、他生協等

6 日本生協連2013年度第2回県連活動推進会議参加報告

[日 時] 2013年9月26日(木)
16時10分～18時

[場 所] ホテル名古屋ガーデンパレス
5F「梅」

[出席] 12府県連12名、日本生協連・関西地連6名

[議 題]

＜議題1＞

(1)「全国課題の中で県連にかかわる事項について」意見交換

＜本部提案＞

- (1)都道府県連における緊急物資協定の見直しについて
- (2)消費者課題関連での当面の取り組みについて
①集团的消費者被害回復訴訟制度早期創設、消費者教育推進法について
- (3)生協での電力事業の当面の取り組みについて

＜議題2＞各府県連の取り組み・活動事例の交流

- (1)TPP 関連報告：三重県生協連
- (2)各府県連課題の交流
 - ・東日本大震災・福島交流
 - ・消費者行政
 - ・ポストIYC
 - ・各府県連独自の課題と取り組み

7 関西地連第1・2回運営委員会参加報告

○第1回

[日 時] 2013年7月25日(木) 13時～15時

[場 所] 新大阪江坂東急イン
3F ウッドルーム

[出席] 運営委員30名、日本生協連・理事監事10名

[議 題]

1. 報告事項＜組織・運営関連＞

- (1)日本生協連第63回通常総会（6/14）のまとめ
※関連報告：コープ共済連第5回通常総会開催
- (2)2013年度地連運営委員会委員承認について

- (3)社会保障政策検討委員会の設置について
- (4)第1回事業種別連合会情報交換会（6／20）の開催報告
- (5)東日本大震災支援活動関連
 - ①生協による被災地支援活動（2013年5月～6月）について
- (6)生協法改正に関する取り組みの進捗状況について
- (7)ポストIYC 関連報告
- (8)国際労働機関（ILO）への生協職員の派遣について
- (9)意見書、要請書の提出関連
 - ①「社会保障制度改革国民会議の審議のための意見募集」への意見の提出について
 - ②消費者行政に関する意見提出について
 - 1. 消費者基本計画の見直し（2013年度）に対する意見提出について
 - 2. 「消費者教育の推進に関する基本的な方針」案に対する意見提出について
 - 3. TPP交渉参加に関する要望書の提出について
- (10)電気料金値上げ問題に対する生協の取り組みと成果について
- (11)改訂版エコストア・コンセプトについて
- (12)生協の電力事業の具体化に向けた課題と進め方について
- (13)「公益財団法人賀川事業団雲柱社からの『賛助会員の呼びかけのお願い』への対応について
- (14)財食品作業センターによる食品産業における取引慣行の実態調査報告書と要請について
- (15)消費者庁・消費者支援功労者表彰の2013年度被表彰者について
- (16)会員生協向け景品表示法の留意点に関する発信について
- (17)小売業における冷凍食品の販売価格表示の適格化について
- (18)議事録報告
 - ①コープ共済連2013年度第1回理事会（6／14）
- ＜商品事業関連＞
- (19)カタログ事業システム再構築に関する投資提案について
- (20)米国産牛肉関連
 - ①BSE管理対策に関する意見提出（食品安全委員会・厚生労働省）について

- ②米国産牛肉の共同調達開始について
- (21)商品事故対応関連
 - ①(株)スクロール物流トラブルの総括と今後の進め方について
 - ②CO・OP烏龍茶商品事故の対応について
 - ③ポータブルソーラーチャージャーの回収について
- (22)コアノン・ユニセフキャンペーン4期以降の進め方について
- ＜管理関連＞
 - (23)2013年度日本生協連会費額決定について

○第2回

- [日 時] 2013年9月26日(木) 13時～16時
- [場 所] ホテル名古屋ガーデンパレス 2F「翼」
- [出 席] 運営委員28名、日本生協連・理事監事9名

[議 題]

- 1. 報告事項＜全体概況報告＞
 - 1. 日本生協連8月度のまとめと9月度～11月度課題
- ＜組織・運営関連＞
 - 2. 一般報告
 - (1)第1回県連活動推進会議の開催報告
 - (2)「2013ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ」の開催報告
 - (3)消費者基本計画」の改定について
 - (4)厚生労働省第6回（2012年度）環境自主行動計画フォローアップ会議の報告書について
 - (5)アメリカ合衆国の核性能実験に対する抗議声明について
 - 3. 消費税増税に関する日本生協連の取り組み概要について
 - 4. 東日本大震災支援活動関連
 - ①生協による被災地支援活動（7～8月）について
 - ②子供・被災者生活支援法に関わる意見募集への意見書の提出について
 - ③くらし応援募金「被災地生協のボランティア活動支援募金」について
- 5. 2014年全国政策討論集会開催について
- 6. 2014年日本生協連・コープ共済連・医療福祉生協連合会賀詞交換会の開催について
- 7. 2013年度経営課題討論集会の企画案について
- 8. 全国生協の「管財物件等の保険料削減着手」について

9. 監事監査実態調査の実施について
 10. 生協の電力事業に関する会員生協向け文書について
 11. 生協法5年後見直しに関わる厚労省への要望書提出について
 12. 厚生労働省打ち合わせ報告（会社法制見直し関連）
 13. 2014年度厚生労働省行政に関する税制改正要望の募集に対する要望について
 14. ポストIYCC関連報告
 15. ICA総会（ケープタウン）および関連会議への参加について
 16. TBS「がっちちマンデー！！」生協特集の対応報告
 17. 2015年介護保険制度改定について
 18. 議事録報告
 - ①コープ共済連2013年度第2回理事会（7/11）
- ＜商品事業関連＞
19. WEB加入システムの事業計画およびシステム開発実施計画書について
 20. ポータブルソーラーチャージ回収の新聞報道とその後の経過について
- ＜管理関連＞
21. 9/21付組織変更と幹部人事について
 22. 内部統制システム構築・整備基本計画進捗状況報告
- ＜コープ共済連＞
23. 2013年8月度までの課題遂行状況の報告

協議事項

- (1)CO・OP商品の商品力強化、ロイヤリティ向上させる取り組みについて
3. 関西地連＜報告事項＞
 - (1)関西地連運営規則改定に伴う各種既定の改廃について
4. 関西地連＜報告事項＞
 - (1)2013年度第1回運営委員会報告書
 - (2)組織整備事項について報告
 - (3)活動日誌
 - (4)会議案内・報告

8 第25回近畿地区生協・行政合同会議参加報告

(内容省略)

9 福島県生協連・福島支援交流会参加報告

- [日 時] 2013年9月
- 20日(金) 12時30分～19時
- 21日(土) 8時30分～15時

[場 所] ホテル福島グリーンパレス、他

[出 席 者] 36団体170名 府連（中村・小山）

【議事次第】

- (1)開会挨拶

福島県生活環境部 消費生活課長
近藤 芳行 氏
- (2)学習講演

『福島原発災害の現状と「支援」の課題』
福島大学経済経営学類教授・
福島県生協連理事 清水 修二 氏
- (3)生協が関わっている福島支援に関する報告
 - ①「福島の子どもも保養プロジェクト」の成果と課題～原子力災害から2年6か月を経て～
コヨット！アドバイザー・
福島大学行政政策類准教授
西崎 伸子 氏
 - ②福島における産・消・学連携による食と農の再生に向けた取り組みの意義と課題
福島大学うつくしまふくしま
未来支援センター 朴 相賢 氏
 - ③FTF（ファースト・トラック・ファイバー）による検査について
浜通り医療生協・小名浜生協病院事務長
國井 勝義 氏
- (4)「福島のくらしの今」リレー報告
 - ①平井 華子さん（コヨット参加者）
 - ②菅野真由美さん（コープふくしま理事・放射性物質摂取量調査参加者）
 - ③佐藤美喜子さん（飯舘村婦人会長）
 - ④渡邊とみ子さん（かーちゃんのカプロジェクト会長）
- (5)グループワークショップ
「これからの福島支援に必要なこと」
- (6)9月21日(土) 福島支援視察
 - ・奥の松酒造～酒造ギャラリー～二本松米全袋検査場～JA新ふくしま農産物直売所～土壌スクリーニングデモンストレーション～JA新ふくしまモニタリングセンター

会員及び友誼団体等

10 消費者支援機構関西（KC's）報告

(内容省略)

11 なにわの消費者団体連絡会報告

(内容省略)

12 全大阪消費者団体連絡会報告

(内容省略)

13 近畿地区消費者グループフォーラム第1回 実行委員会報告

[日 時] 2013年9月9日(月) 13時～15時
[場 所] 日本生協連関西地連3階・B会議室
[実行委員] 消費者庁、コンシューマーズ京都、京都消費者ネット、全大阪消団連、なに消会、Cキッズ、奈良県生協連、なら消費者ねっと、消費者ネットしが、消費者ネットわかやま、兵庫県生協連、消費者支援機構関西、NACS、奈良県、全国消団連、日本生協連

[概要]

- (1)平成25年度地方消費者グループ・フォーラムの開催について(消費者庁より報告)
 - ①昨年度の成果と今年度の開催趣旨について
 - ②今年度の体制と役割分担
 - ・今年度は予算の削減に伴い、実行委員会の効率的な運営を図るため、実行委員会の開催を3回まで(振返りを含む)、事務局打合せの開催を4回程度とする。
 - ・実行委員会への参加は各団体より1名までとし、実行委員欠席の場合の代理参加は可。
 - ③委託業者を介しての実行委員会サポートの説明
 - ・今年度は有限会社ビジョンブリッジが委託業者として運営のサポートにあたる。
- (2)平成25年度近畿ブロック実行委員会立上げ
今年度は、奈良県で開催し実行委員会事務局団体は、なら消費者ねっと奈良県生活協同組合連合会とする。
- (3)開催日時と全体概要を確認した。
2月12日(水) 奈良県文化会館
『広げよう連携の輪！つくろう消費者市民社会！』
11:00～ 壁新聞交流会
13:00 開始
一部 開会あいさつ・消費者庁から挨拶・取組報告
13:20 壁新聞発表会(リレー報告)(80

分)

- ・15団体限定・1グループ5分
(事前に壁新聞の写真データの集約が必要)

14:40 移動・休憩(10分)

二部

14:50 分科会

- ・テーマごとに分かれて(80分)

16:10 全体まとめ

16:30 終了

(4)第2回は11月18日(月)13時から開催する。

行政等

14 第14回大阪府食の安全安心推進協議会報告

[日 時] 2013年9月4日(水)

10時～11時30分

[場 所] プリムローズ大阪 2階 鳳凰(東)の間

[出席] 20名(23名中)

[議題]

- (1)会長の選出について
- (2)部会について
- (3)食の安全安心推進協議会事業者あり方検討部会の実施報告について
- (4)第1期大阪府食の安全安心推進計画の取組まとめについて
- (5)その他

[概要]

- (1)会長には、中村桂子氏(JT生命誌研究館館長) 会長代理には、音田昌子氏(ジャーナリスト)が選任された。
- (2)3つの部会、情報発信評価検証部会、事業者あり方検討部会、大阪府食の安全安心認証制度認証機関審査部会が提案され、各委員も専任された。
 - 情報発信評価検証部会 部会長
音田昌子氏(ジャーナリスト)
 - 事業者あり方検討部会 部会長
小田滋晃氏(京都大学 教授)
 - 大阪府食の安全安心認証制度認証機関審査部会 部会長
小田滋晃氏(京都大学 教授)
- (3)食の安全安心推進協議会事業者あり方検討部会の実施
報告、第1期大阪府食の安全安心推進計画の取組まとめが報告され、質問意見が交流された。

15 大阪府消費者保護審議会報告

[日 時] 2013年10月4日(金) 10時～12時
[場 所] 大阪府立男女共同参画・青少年
センター4階 大会議室3

[出 席] 14名(17名中)

[議 題]

- (1)会長選出について
- (2)消費生活苦情審査委員会及び自主行動基準
検討部会について
- (3)大阪府の消費者施策について

[概 要]

- (1)大阪府消費者保護審議会の会長に池田辰夫氏(大阪大学大学院高等司法研究科教授)、会長代理に山本浩二氏(大阪府立大学大学院経済学研究科教授)が選任された。
- (2)消費生活苦情審査委員会、自主行動基準検討部会の各委員が会長の指名により選任された。
- (3)大阪府の消費者施策について報告され、意見交流をした。

16 第2回おおさかスマートエネルギー協議会参加報告

[日 時] 2013年9月13日(金)
13時30分～15時30分

[場 所] 大阪府咲洲庁舎20階 会議室

[構成団体]

<府民団体>

なにわの消費者団体連絡会、大阪府生協連

<事業者団体>

関西経済連合会、大阪商工会議所、大阪府
中小企業団体中央会

<エネルギー供給事業者>

関西電力、大阪ガス

<市町村>

大阪市、堺市、貝塚市、河南町

<事務局>

大阪府環境農林水産部エネルギー政策課

<オブザーバー>

近畿経済産業局

<ファシリテーター>

ひのでやエコライフ研究所

代表取締役 鈴木 靖文 氏

[議 題]

- (1)議題等に関するアンケート結果の報告
- (2)今夏の電力需給状況(関西電力からの報告)
- (3)エネルギー価格高騰への影響
- (4)部門別会議の報告

その他

17 大阪府下避難者支援団体等連絡協議会(ホッとネットおおさか)第7回定例会参加報告

[日 時] 2013年9月27日(金)
13時30分～15時55分

[場 所] 大阪弁護士会 10階会議室

[参 加] 約40名

[概 要]

- (1)実践報告と意見交換 その1
「三木市社協による当事者団体の継続的支援」
- (2)実践報告と意見交換 その2
「安否確認の電話から見えてくる避難生活の現状と課題」
- (3)この間の動きから
 - ①原発事故子ども・被災者支援法の基本方針案とパブコメな
 - ②堺市長との懇談会
 - ③原発事故損害賠償訴訟の提訴
- (4)当事者団体からの報告
- (5)事務局からの報告
 - ①ピーチの航空利用サービスの配布について
 - ②支援団体のマップ作成
 - ③当事者の常設交流会のマップ作成と広報依頼
 - ④各市町村への避難者状況把握の再調査について
- (6)参加の支援団体からの近況報告等

18 9条世界会議・関西2013参加報告

(内容省略)

19 分野別会議開催日程について

- 地域生協 2013年12月11日(水) 14時30分～17時
- 医療生協 2013年11月8日(金) 14時30分～17時
- 大学生協 2013年12月10日(火) 14時30分～17時

20 日本生協連「COOP安否確認同報サービス一斉訓練」への参加について

(内容省略)

第25回近畿地区生協・行政合同会議を開催しました

8月30日(金)、和歌山市のホテルグランヴィア和歌山にて、近畿地区生協・行政合同会議を開催しました。同会議は地域住民の安全・安心な暮らしを支える為に、生協と行政とのパートナーシップを深めることを目的に開催するもので、今年で25回目となりました。

また同会議は、近畿地区2府5県の生協府県連で構成する近畿地区生協府県連協議会が主催し各県持ち回りで開催しており、今年では和歌山県が当番県となりました。

今年度は、「協同組合がよりよい社会を築きます～ポストIYCについて～」をテーマとしました。

会議では、まず主催者を代表して、近畿地区生協府県連協議会代表の本田英一兵庫県生協連会長理事から挨拶があり、続いて開催地を代表して、塩崎望和歌山県環境生活部長より歓迎のご挨拶がありました。

その後、厚生労働省近畿厚生局の野本宏健康福祉部長よりご挨拶と生協定期検査における主な指摘事項についてご報告がありました。また日本生協連からは全国生協の概要等について報告がされました。

特別報告は花王株式会社研究主幹 花王エコラボミュージアム館長の妻鳥正樹さんから「花王の環境のとりくみ」と題して花王が地域社会への役割としてすすめる先進的な環境活動についてご紹介いただきました。

特別報告の後には、各地の特長的な取り組みの紹介として、和歌山県から「和歌山県の防災・減災」の取り組みについて、奈良県生協連から「なら消費者ネット設立と初年度の活動報告」について、兵庫県生協連から「会員生協の被災地支援の取り組み」について、そして消費者支援機構関西からこの間の活動について報告いただき意見交換しました。

なお、午前中にはオプション企画として花王エコラボミュージアムを見学しました。



10月14日「9条世界会議・関西2013」が開催されました

10月14日(祝)に大阪市中央体育館にて、「9条世界会議・関西2013」が開催され、5,000人(主催者発表)が参加しました。

同世界会議は、日本国憲法の第2章・第9条「戦争放棄」のような平和条項をもつ憲法が世界の国々で増えて来ているなか、世界の平和を求める人々と一緒に第9条の持つ意義を再確認することを目的に開催されました。

午前中は、3つのワークショップが行われました。ワークショップ1は「戦争のない世界へ」をテーマに、映画「HIBAKUSHA(邦題「被爆者として生きる」)」の監督デービット・ロートハウザーさんをゲストに、同作品の上映と監督からのお話し、被爆者の方からの体験談と原爆症認定裁判活動のお話がありました。ワークショップ2は「アジアの中の9条」をテーマに、領土問題や歴史認識問題など東アジアでの平和への脅威に対して、韓国や台湾、フィリピンからのゲストを交え市民の立場から地域平和をいかに創造するか意見交換がされました。ワークショップ3は「9条ワカモノ わたしの立場から考える9条」をテーマに、イラク支援ボランティアの高遠さん、韓国の平和活動家、「日本国憲法を口語訳してみたら」の著者、大学生の塚田薫さんをゲストにトークセッションがされました。

午後からは、メインアリーナで集会が行われました。第1部は「世界に広がる9条」です。うたごえの大合唱によるオープニング、開会挨拶、前日に関西大学で行われた国際会議の報告の後、海外ゲストからのスピーチです。アメリカの元陸軍大佐・元外交官のアン・ライトさん、韓国の憲法学者のイ・キョンジュさん、チェニジアの弁護士ベルハッセン・エヌーリさん、フランスの弁護士のローラン・ベイユさんから其々の活動や第9条への想いについてお話がありました。第2部は「若者が伝える9条」と題して、ダンスパフォーマンス、タレントの藤波心さんのスピーチ、エイサーの演奏がされました。第3部は「私たちが生かす9条」では、沖縄と福島からの国内ゲストによる基地問題、原発問題について報告がされました。またビデオメッセージ、上条恒彦さんライブでメイン集会はエンディングとなりました。メイン集会と並行して「子どもプログラム」も行われ、世界の子どもの絵の紹介、短編アニメ上映会、バルーンアートや積み木などの遊びコーナーが行われました。

その他、会場の外では41団体から出展されたブースでさまざまなアピール行動が行われました。秋晴れのもと、たくさんの人々で平和憲法を考える一日となりました。



午前中のワークショップ

午後のメインステージ

ブース風景

東日本大震災被災地支援活動 2013年度の取り組み

■東日本大震災被災地支援バス 第4回報告

9月5日(木)から8日(日)の日程で、「東日本大震災被災地支援バス第4回」を運行しました。今回は4会員生協から18名の組合員さんが参加されました。今回は女性が多く14名、男性4名の構成で、30歳代～60歳代の夫婦、親子と幅広い年代層から参加いただきました。

9月5日(木)の夜7時に大阪を出発し、翌6日(金)の朝8時45分に、宮城県南三陸町に到着しました。この日も宮城県漁協志津川支所さんを訪ね養殖カキの作業のお手伝いです。午前、午後の作業は、カキの種付け用の原版づくりで、ホタテの貝殻への穴あけと、ワイヤーに貝殻を通す作業です。午前の作業後漁船に乗せていただき志津川湾を周遊しました。カキの養殖の行程を学び、原版作業後の行程、カキの養殖の生育行程などを見せていただき、実物のカキ、ほたて、ホヤを見せていただきました。とてもいい天気でしたので、沖合いまできれいな志津川湾を船の上から一望できました。午後の作業を終え、宮城県漁協志津川支所の事務所で交流会を開催しました。初めて参加したボランティアの方からは、被災地の現状と現地の人の思いを、1人でも多くの人に伝えて行きたいとの思いなど話されました。その後カキ部会の遠藤部会長の案内で南三陸町の市街地をバスで周りました。建物の土台から整理し更地化する町、地盤沈下で海水に浸かっている地域、骨組みだけの姿の防災対策庁舎、街を一望できる丘で震災前の



同じ場所からの写真との見比べをして、変わり果てた町を見ているだけでした。

9月7日(土)は、朝8時にホテルを出発し、午後12時すぎに福島県いわき市役所で「原発事故の完全賠償をさせる会」の佐藤さんと合流し、広野町、楢葉町、富岡町を周り、被災の状況や現状についてバスの車窓から視察しました。

広野町に入ると閑静な住宅街、広がる畑、のどかな農家など、普通の街並みが広がっていました。畑、道路のすみずみに大きな黒い袋があり、除染した土、草が1トン入る袋で「トン袋」と言われているようです。このトン袋が畑等の一角に集めて仮置き場として高く積み上げられている光景が何ヶ所もありました。

避難指示解除準備区域の楢葉町は原則として寝泊まりが出来ない地域で、住民の方は昼間だけ家の片づけ等で戻ることが出来る地域です。この地域の宝鏡寺を訪ねて、住職の奥さんの早川千枝子さんからお話を聞くことができました。避難していると自宅に泥棒が何度も入り現金、テレビなどをとっていくので、本堂の本尊も避難しているが、お葬式のあげれない等のお骨がありご家族のために本堂を開放しているそうです。

次に、富岡町に入るとショックな光景が目に飛び込んできました。2011年の2年半前のまま止まったままの光景でした。海が広がり、その前に破壊されたままの富岡駅、駅周辺の街並みが広がっていました。窓のない民家、飛び込んだ自動車、あの日のままで止まった時計、折れ曲がった建物と柱。この光景にみんな啞然と、結構な時間たずんでいました。

短い期間でしたが、被災地の現状を知り、少しずつ復興している南三陸町と、震災当時のままの姿や2年半放置された町の福島県。同じ、日本で起こっている現実の姿に、今一度被災地に対し私たちが出来ることは何か考える機会となりました。



■東日本大震災被災地支援バス 第5回報告

9月26日(木)から29日(日)の日程で、「東日本大震災被災地支援バス第5回」を運行しました。今回は5会員生協から16名の組合員さんが参加されました。女性が10名、男性6名の構成でした。

9月26日(木)の夜7時に大阪を出発し、翌27日(金)の朝8時30分に、宮城県南三陸町の宮城県漁協志津川支所カキ処理場に到着しました。養殖カキの作業のお手伝いで、カキの種付け用の原版づくりを漁協の方達と一緒に行いました。ホタテの貝殻に先のとがった金槌で穴をあけて、ワイヤーに70枚の貝殻を35枚毎で向きを変えて通す作業です。枚数や向きを間違えないように作業をしました。約2時間の作業の後は、漁協の方と交流をしました。震災前の南三陸町の写真パネルを見ながら、震災当時の体験をお聞きしました。午後からはカキ部会の遠藤部会長、行場副部会長の案内で南三陸町の市街地を周りました。更地になってしまったお二人の住居跡、先日解体が決まった防災対策庁舎、大昔の津波被害が地域の名前の由来となっている入谷大舟沢地域、海岸線から約1キロも奥まった高台にありながら被害を受けた特別養護老人ホーム跡地などを案内いただきました。



9月28日(土)は、朝8時にホテルを出発し、4時間かけて福島県いわき市に移動しました。前回企画でもご案内いただいた「原発事故の完全賠償をさせる会」の佐藤三男さんと合流し、いわき市、広野町、楢葉町、富岡町と福島第一原子力発電所から半径30～10km圏内の被災の状況や現状について視察しました。

いわき市では久ノ浜町の津波による被害を見て、近くの小学校内にある仮設商店会に立ち寄り、被災当時の写真や画像を見学しお店の方から当時のお話をお聞きしました。楢葉町では東電の復興本部となっているJヴィレッジ跡地を車窓から見学しました。移動途中にバスから見えたあちこちにある放射能汚染物質置場とその膨大な量に唖然としました。福島第二原子力発電所の横を通過し、富岡町に入りました。バスを降りて富岡駅周辺の商店街を歩きました。ほぼ被災当時のままの町の姿にあらためて津波の被害の大きさを実感しました。また岩手や宮城

とは違う放射能被害による福島の状態を目の当たりにしました。

今回は絶好の秋晴れでした。朝夕の澄み切った空気、青い空、真っ赤な夕日、壮大な山々、水平線まで見渡せる海、黄金色の稲穂、本当にきれいな東北の風景を見て、なおさらに一日でも早い復興を願わずにはいられませんでした。



■東日本大震災被災地支援バス 第6回報告

10月24日(木)から27日(日)の日程で、今年度最後の「東日本大震災被災地支援バス第6回」を運行しました。台風26号、27号が接近している中宮城県、福島県へ向かいました。今回は5会員生協から20名の組合員さんが参加されました。女性が16名、男性4名の構成でした。

10月24日(木)の夜7時に大阪を出発し、翌25日(金)の朝9時すぎに、宮城県南三陸町の宮城県漁協志津川支所カキ処理場に到着しました。10月15日から養殖カキが水揚げされており、そのカキの選別作業をお手伝いしました。カキの回りには、多くのムール貝や海藻などがついており、カキの本体とムール貝の大きいサイズのもの、カキの小さいサイズのものやムール貝の小さいサイズのものなど3つに選別しました。カキの本体の身を剥く作業時に、回りについているムール貝などにとっておくと身を剥く作業が早くなります。台風の影響で小雨の中約2時間の作業をしました。大阪ではほとんど目にしない大量のムール貝をゆがいたものとカキ汁を漁協の方に作っていただき、その場でいただきました。その後お昼ご飯を挟んで、漁協の方と漁協の会議室で交流をしました。カキの養殖筏やカキの生育の話と震災当時、以降の体験をお聞きしま



した。その後、カキ部会の遠藤部会長、行場副部会長の案内で南三陸町の市街地を周りました。更地になってしまったお二人の住居跡、11月中に解体が決まった防災対策庁舎、海岸線から約1キロも奥まった高台にありながら被害を受けた特別養護老人ホーム跡地などを案内いただきました。

10月26日(土)は、朝8時にホテルを出発し、4時間かけて福島県いわき市に移動しました。今回で4回ご案内いただく「3・11被災者を支援するいわき連絡協議会(通称 みんぷく)」の方と合流し、久ノ浜駅周辺を視察してから久ノ浜公民館で被災の状況や復興の現状、みんぷくさんの震災当時から現在の活動などをお聞きしました。その後、復興商店の「浜風商店会」に立ち寄り、被災当時の状況等について、当時の写真を見たり、小学校の校庭にある商店会で買い物等をしました。その後バスでいわき市、広野町、楢葉町、富岡町と福島第一原子力発電所から半径30~10km圏内の被災の状況や現状について視察しました。移動途中でバスから見えた除染された土や草などをいれてる黒いトンバックとその置場が膨大な量に唖然としました。トンバックの置場には、緑の巨大シートが覆っていました。このトンバックの置場は、仮置場で本置場や処理はまだ決まっていないようです。福島第二原子力発電所の横を通過し、富岡町に入りました。9.11のまま止まっている、富岡駅周辺を視察しました。被災当時のままの町の姿にあらためて津波の被害の大きさと放射能被害による福島状況を目の当たりにしました。

人も犬も猫もない町が現実にある事実を体験し、復興支援になにができるかを改めて考えさせられました。



“女だから”“男だから”はもうやめよう!

私が思う男女(女男)共同参画

おおさかバルコープ
組合員理事 武田 智津枝

私は昭和8年生まれの子と母に育てられました。

昭和8年生まれといえば、小学生時代は戦時中で12歳で終戦を迎え、戦後の混乱期・高度成長期・現在の閉塞した時代を生き抜いた世代です。

晩年は随分変化しましたが、昔 私が家にいる頃（結婚するまで）父は、「男は台所に入るもんやない」「男は外で働いて金を稼ぐのが仕事。女は家のことしとったらええ」「子守は女の仕事」とよく言っていました。

一方、母は「これからは女の人も手に職をつけなアカン」「男女同権やから」という言葉を時々口にしていました。

男尊女卑から男女共同参画の時代へと、憲法・法律など社会が大きく変化する、まさに過渡期を生き抜いた世代で、今考えればもともとの考え方の違いにより受け入れ方の違い、変化への順応性の違いなどその世代の生きづらさや葛藤があったのだと思います。

そんな父母との生活の中で、「考え方に共感できたら、従えるのに」「人間としての言葉に納得できたら従えるのに」「男の言うことに女は従わなアカンというのはおかしい」「親の言うことは盲信しろというのはおかしい」とよく思っていました。

だから私にとっての男女共同参画は「男だから女だからではなく、まず、人として協力して家庭・地域・社会を作っていくこと」ではないかと思っています。

そんな社会を作るため、私たち個人で何ができるのか？を考えたいと思います。

人と協力し合える人間関係を作っていくには、相手を認めることが大切です。相手を認められる人になるには、自分自身を認める自尊感情が大切だといわれます。自尊感情を持った人を育てるには子育ての中で子どもを認めることが大切だそうです。

風が吹くと桶屋が儲かるという話に近いですが、男女共同参画社会の実現のための一つの方法として、家庭の中で子どもを否定するのではなく、子どもが自信をもてるような子育てをすることが大切ではないでしょうか。息子二人の子育てにはそのように心がけてしてきたつもりです。

しかし、自尊感情のある人でも、リストラ・就職難・いじめ・過酷な労働などでそれを無くしてしまう社会の現状があります。そのような現状が少しでも無くなる事が男女共同参画社会の実現への道ではないでしょうか。

スケジュール

11月

- 10日 大阪府泉北地域3市1町合同防災訓練（泉大津）
- 14日 生協大会・第5回生協大会実行委員会
- 15日 会報No307発行
- 26日 第3回ジェンダーフォーラム協議会

12月

- 12日 第3回大規模災害対策協議会
- 17日 大阪府検査
- 19日 第3回理事会
- 24日 会報No308発行

1月

- 23日 第4回理事会
- 23日 政策討論集会

2月

- 13日 第4回大規模災害対策協議会
- 14日 第3回組織活動委員会
- 19日 第1回文楽・コンサート実行委員会

3月

- 4日 第4回ジェンダーフォーラム協議会・学習講演会
- 12日 第2回文楽・コンサート実行委員会
- 17日 会報No309発行
- 17日 第1回生協大会実行委員会
- 20日 第5回理事会